



AK

kashinoki
Press No.50



2019-2020

ゼロからスタート!
全員でActivity!



Ibaraki Oak Lions Club

335-B 地区 6R1Z 茨木オーライオンズクラブ

この一年を顧みて

会長 杉本憲一



今年度は、会長という大役を任されました。会長テーマの「ゼロからスタート、全員でアクティビティ」のとおり、全員参加の例会、奉仕活動を目指しておりましたが、なかなか出席率が伸びなかったのが、私自身の力不足だと痛感しております。

そして新たな試みとして地域の清掃活動を実施しましたが、例会後の忙しい中、たくさんのメンバーに参加してもらい活動できたことは良かったと思います。

そして今年度最も残念だったことはコロナウィルスにより例会・奉仕活動の中止ということですが、3月に入って感染拡大防止のため活動の自粛が始まったころ、献血活動をどうするか、活動したとしても献血にきてくれるか不安でしたが、大阪府赤十字血液センターからこういう時期だから血液が必要だとの強い要望もあり実施したところ、多数のメンバーに参加及び自ら献血をしていただいたこと、そしていつもと変わらない程の多数の方が献血に協力していただいたことは本当に感動しました。

本年度は会長としての任期より数か月少ない実働期間ではありましたが、幹事をはじめ会員みんなが協力して私を支えていただいたことに感謝します。有難うございました。

この一年を顧みて

第一副会長 GLT 脇澤 元

この一年は第一副会長として杉本会長を微力ながら支えていければという思いでスタートいたしました。日を追うごとに会長らしくリーダーシップを発揮してクラブメンバーを引っ張っていく杉本会長の姿をまじかに見ることができ、大変有意義な1年だったと思います。実務ではふれあい委員会の担当副会長として一年間レインボーサークルの皆様と共に活動してまいりました。3月末には約4年に渡り営業していただいていたレインボーカフェが閉店となり、それに伴いカフェスペースの有効活用について数度、茨木市との話し合いの場を設け、サークル内でも検討していた矢先に、今回の新型コロナ禍によりすべてがストップとなりました。

次年度は会長としてどうなる事が全く想像できませんが、状況をみて臨機応変に対応していければと思います。1年間有難うございました。そして次年度もどうぞよろしくお願いいたします。



「この一年を顧みて」

第二副会長・奉仕委員長・GST 原田 強

今年度はコロナ禍が全国的に広がりライオンズ活動がほと



んどできないなか、奉仕委員長として、将棋大会や献血ができたことホッとしております。逆にコロナ禍で血が足りないことも知り献血の重要性がより知れたと思います。

第二副会長として、今後のことを考えますとメンバー拡大が重要と思いますが今年度はメンバー拡大ができないうらいコロナ禍を思い知らされました。

早い終息を望みますが、ライオンズとしてできることを今後は考えていかなくはいけないと思います。これからも我々一丸となって頑張らしましょう。

今年度を振り返り思ったこと

幹事 仲 猛夫

今年度は、不完全燃焼の年でした。どうしようもないコロナ禍のおかげで、例会他活動の多くを自粛せざるを得ない状況になりました。杉本会長は、ある意味ライオンズの歴史に残る会長になり、仕方がないとはいえ、本当に残念です。L澤田、L井土の突然の別れもあり、また、今年1月にL大河原が倒れて現在も復帰できないでいます。早く元気な姿を見せてほしいです。

明るい点は、お一九ライオンズに初めて女性メンバーが入会したことです。L大野、ありがとうございます。

現在、時間が止まったように感じますが、今後は社会の一部にコロナを意識しつつ、新しいライオンズ活動を展開してい



きましょう。与えられた役割は何であれ、それぞれの立場で楽しいオークライオンズクラブにしていきましょう。

この一年

会計 西村昭一



会長L杉本、幹事L仲のもと会計をつとめることになりました。船出は順調にすべり出したのですが、後半新型コロナウイルス感染拡大というまさに緊急事態のもと、ライオンズクラブの活動も制限を受けることになりました。ドネーションは集まらず、会食費は余ってくるというような予想外のことと、例年にない決算になりそうです。

三密を避け、外出をしてはいけなくなると本当に何もできなくなります。ライオンズクラブの基本である奉仕活動もままならず、休眠状態となってしまいました。なんとも口惜しいことですがこのような状況が長くつづくことはないことを歴史が教えてくれます。コロナ禍の収束後は、「新しい生活様式」の中でこれまでと違った新しいライオンズの活動が期待されることでしょう。次期会長L脇澤よろしくお祈りします。

2019-2020 年度 この一年を顧みて

ライオンズクラブ国際協会 335-B地区
MC・IT委員 田中 雅之

早くも若葉の鮮やかな季節となりました、昨年この時期は次年度の準備等で慌ただしくしておりましたのを思い出します。

地区委員とはどのような事をするのか全く想像が付かないままの出向となり地区委員長及びリジョンチェアパーソン、ゾーンチェアパーソンと委員会の皆さまには大変ご迷惑をお掛け致しました。



この委員会の思い出としては私の担当する6リジョンより第32回国際平和ポスター・コンテストにおいて寝屋川中央ライオンズより応募の八木田 優花さんの作品が335B複合地区で最優秀賞を取りアメリカまで渡り入賞する快挙を遂げた事です、残念ながら新型コロナウイルスの影響を受けてシンガポールまで行けませんでした地区委員としては思い出に残る作品に出合えて本当にやりがいのある委員会でした、またリジョン内での合同例会、諮問委員会へも同行させて頂きリジョン内の各クラブの考え方、方向性を垣間見ることが出来て非常に勉強となりました、また素晴らしい仲間とも出会える事が出来、ラインズならではの感動と出会いを満喫させて頂きました。

最後に新型コロナウイルスでは大変な事になっておりますが、このような時期こそライオンズクラブの活動が必要とされるのではないのでしょうか、皆さまも御苦労されておられると思いますが力を合わせて困難に立ち向かいましょう。

この一年を顧みて

前会長・LCIF コーディネーター 田畑 収



この一年、LCIF.Co をさせていただき、皆様方のご協力、ご支援を頂き、心から感謝申し上げます。

特に、「キャンペーン 100:LCIF 奉仕に力を」の中で、「100」

には、会員1人当たり年100ドルの寄付に、世界の全会員100%が参加し、100%のエネルギーを出す、という意味が込められているとのこと、それにより年間1億ドル、3年間で3億ドルの目標を達成することです。

キャンペーンは2018年7月にスタートし、期間は3年間ですが、その成果は、数世代に及ぶと言われています。

その中で、今年度は2年目になり、当クラブにおいても、正会員の一人当たりの年100ドルの寄付に、全正会員100%参加して頂き、2021年までに2億人を超える人々に奉仕し、グローバル重点分野と影響力の拡大に向けて、ライオンズに必要な資源の確保に寄与できたと思っています。

想い新たに

会員委員長 GMT 鈴木 幸次

皆様ご承知の通り、今期は一生忘れないであろう年となりました。新型コロナウイルスによる国内初の緊急事態宣言、「三密」を避ける為にとられた処置は公共施設勿論、各種学校、百貨店、スーパー、個人営業の小さな店まで休業自粛。それに伴い様々なイベントや公演も中止となり日本経済の損失ははかり知れないものとなりました。我々ライオンズクラブに於いても例会や会議がまともに出来ないまま後半が終わってしまいました。

GMT委員長としてクラブの目標を達成すべく会員増強に力を入れていたのに残念でなりません。

何より全てに於ての判断を問われる会長、重責の立場での気

苦労は計り知れないものとなった様に思います。

まだまだ完全に現状回復したわけではありませんが今回の事態の中でも奉仕団体としてやれる事をやったクラブも多々見受けられ、そういった意味では茨木オークライオンズクラブとしても何か出来る事はあったのではないのか？という反省点も踏まえて来季は勿論今後の活動に邁進していかなければと思っています。三役、執行部、会員の皆様本当にお疲れ様でした。

この1年を振り返って

岸中雅之

例会開会30分前に受付にて、前回例会までの欠席者に対して無届け欠席3,000円、事前に届け出をして欠席した場合に1,000円、欠席ファインを徴収するのが主な役割でした。

出席率が上がれば欠席ファインは少なくなり、ドネーションが多くなるので出席率を高めるよう例会でPRをしました。欠席されているメンバーには当然届くわけもなく、例会が楽しく、面白い、勉強になるという、「来てよかった」と思ってもらえるような例会であれば出席率も上がり、欠席ファインをとらなくてもいいようになるのですが、それが大変難しい。いつかは欠席ファインが無くなるのが理想であり、そうなることが会員拡大になることの原点だと思います。

委員会名は長くて大変な委員会だと思いましたが、指導力に関することは何もできずに残念です。いい経験をさせていただきました。ありがとうございました。



完全燃焼ならず・・・ですが楽しめました

計画委員会 委員長 山本 悠介



今年度の計画委員会は全6回の企画を予定しておりましたが、世界中で猛威を振るった新型コロナ禍により、100%例会を実施する前に終えることになりました。

計画委員会に於いては、期首においては合同例会等の各種決まった例会行事があったので10月から本格的な活動となりました。実施した行事は「ローズ合同ワイガヤ例会」「移動例会（ラコリーナ・魚松）」「クリスマス例会（YCE 帰国報告会）」「まったり例会」になります。

今年度は完全燃焼とはいきませんでした。各種計画においては自分だけではなかなかいいアイデアも思い浮かばないと思い、会長・副会長、T・T、L・T、計画委員長経験者を集めて「数でアイデアを出す！」をモットーに委員会を実施しました。ただ結局はほぼ「飲み会」状態でなかなかまとまらなかったという点にはありましたが、L 西田副委員長に常に側でフォローして頂けたことや様々なメンバーと席を囲むことでメンバー間の絆も再認識でき、楽しく委員会を実施できたかと思います。ありがとうございました。

かしの木によせて

会則・付則委員会 委員長 西田英雄

2019年7月より、会則・付則委員会の委員長を拝命受け

て一年を迎える。

会則・付則についてまだ十分な理解をしておりませんでした、ただクラブ会則がクラブのルール作りの基本です。

茨木オークライオンズクラブの会則は、ライオンズクラブ国際協会のチャーターを受けその管轄下におかれている。我がオークライオンズクラブの会則は、柔軟性に富み地域環境に合わせた会則のなかで、会員の構成を見れば、総メンバー50名会員です。

正会員32名、優待会員8名、終身会員5名、賛助会員8名（男性47名・女性1名・

家族会員2名）、会員の平均年齢61歳、65歳以上の高齢者会員19名。

会員の性質も実質面から名目的会員への移行がみられます。正会員率56%で正会員比率が半数に近い、正会員によるアクティビティ、ドネーション事業運営に大きな影を落とします。

今後も、会員が積極的なクラブ運営に参加していける会則を会員によって改正しながらよりよいクラブ会則に薦めたいとおもいます。



YCE とビッグバンド

市民社会奉仕 YCE 委員会 副委員長 西川明

YCE 派遣については応募者無しでした。十分な告知をしていないこともあり反省しておりますが、大変有意義な事業

であり、大きな予算を必要とするので、現状のクラブ運営からすると大きな負担がかかるのも事実です。事業の意義目的を再確認し募集要綱や募集範囲などを検討するとともに、募集は2年に一度にするなど、事業としてどう取り組むかを議論することも必要であろうと思います。

受け入れについても本年は6R内での順番は今回はありませんでした。来期はコロナの影響でこの事業自体が中止だと思いますが、開催されれば受け入れの準備が必要になるので、受け入れ先を、偏るのではなく全メンバー対象に考慮する必要があると思います。

社会奉仕についてはビッグバンド JAZZ フェスタを担当しました。音楽、特にビッグバンド（おおよそ18名以上）という大所帯のバンドを切り盛りするエネルギーをもって活動されている方々と一緒に舞台をつくることに参加していることが楽しくて、周年より開催が始まり気が付くと9年を経過していました。音を出す方も、聞きにこられる方々にも楽しい時間を一緒に共有することが喜びであり、奉仕？ととらえています。来期の10回目の記念公演は、コロナの影響により開催することができないのが大変残念です。半年間ご協力いただきありがとうございました。後の半年はステイホーム。杉本会長お疲れ様でした。そして、サヨナラのメンバーにはお疲れさまでした。新しいメンバーには、これからの期待をしつつ、次年度もできることを粛々として行きたいと思っています。

一年を振り返って

ふれあい副委員長 中尾 豪

メンバーの方々、一年間ご協力ありがとうございました。今年度は、新型コロナの影響で様々なことがありましたが、当委員会は、まだ影響が少なかったように思います。ふれあいフェスタでは、第一副会長の協澤委員長に、パブリカダンスを踊っていただき盛り上がったように思います。ビンテージカーでの施設の販売も好評であったように思います。

次年度は新型コロナの影響で、どうなるか分からないとこ



ろもありますが、続けていって欲しいと思います。カラオケ大会は中止になりましたが、開催場所が決まっていないので、一からになると思います。レインボーショップが、レストランが無くなってこれからでするので大変だと思います。

次年度はいろいろあると思いますが、できる限りお手伝いしますので頑張ってください。本当に一年間ありがとうございました。

青少年育成委員会を担当して

青少年育成副委員長 牧田智聡

今年度は、交通安全例会で交通安全講習会からの活動スタートです。そして茨木市長杯少年・少女将棋大会、かしの木ボーリング大会の開催です。将棋大会は、インフルエンザ、コロナウイルスなどにより昨年度より参加人数が減少しました。ウイルスによる感染拡大の防止として、マスクの着用、アルコール消毒液で手の消毒を徹底しました。その中でも子供たちは将棋に取り組む姿勢は真剣です。大会が2月前半で



あったことで、無事に終える事が出来安堵いたしております。

しかし、かしの木ボーリング大会は中止となりました。子供たちも楽しみにしていたので本当に残念です。今後、社会がウイルスと共存していくと言う前提での事業の取り組みを考案していかななくてはならないと強く感じました。コロナウイルスが収束し従来通り事業が遂行出来ることを願っております。

この1年間クラブ員の方々にご協力を頂き本当に感謝しております。有難うございました。



1年を振り返って

ライオン・テーマー 大脇 久徳

茨木オークリオンズに入会させていただき早2年。月日が経つのは本当に早いと痛感しております。

テーマーとして今年度経験させて頂きましたが、本当に良い時間を過ごすことができました。

クラブメンバーには昔からお世話になっている方が多いですが、組織の中でそれぞれの方がどのような役割で活躍されているのか理解できておりませんでした。

しかし、テーマーを担当させていただいたことで組織の役割や全体像が把握できたのではないかと思います。温かい目で見守っていただけましたクラブメンバーの皆様に感謝申し上げます。本当に有難うございました。

次年度は恐れ多い役割を与えていただきましたが、恐れることなく喜んで全うしたいと思います。

今後とも宜しくお願い申し上げます。



1年を顧みて

テール・ツイスター 田中 篤士

本年度はテール・ツイスターをさせていただきました。

今期は会長・幹事からT・Tタイムを時間いっぱい使って何かして欲しいとのことでしたので、副テールツイスターL大河原とともにメンバーへ質問攻めさせていただきました。本来なら全ての例会でメンバー全員に喋っていただきたかったのです。

コロナウイルス感染症で例会が中止になるなど非常に残念な1年でありましたが、マイクを廻すと皆様、快くご回答いただきありがとうございました。

最後に、L大河原が倒れられ、現在の状況はわかりませんが、早期に回復されることを心より願っております。



第9回 ビッグバンドJAZZフェスタin茨木



会長重点事業-例会後の環境美化活動



薬物乱用防止パレード参加





茨木ヴィンテージカーショー



平和ポスター展 表彰式



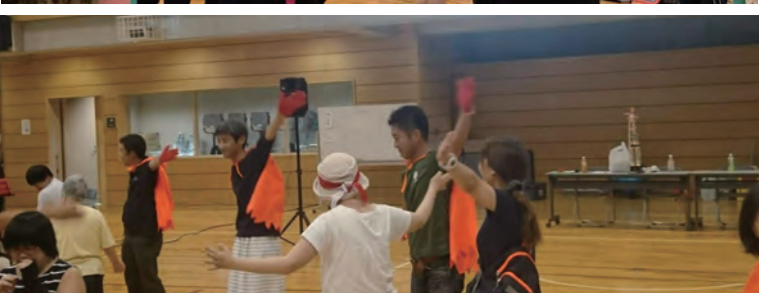
ガバナー公式訪問 9クラブ合同例会



献血奉仕活動



レインボーフェスタ運動会



家族例会



入会式



レインボーカフェお別れ会







発行：茨木オーケライオンズクラブ
編集：2019-2020 MC委員会
〒567-0882 大阪府茨木市元町5-23
Tel.072-626-1431 Fax.072-625-7821
info@ibaraki-oak-lc.com

<http://www.ibaraki-oak-lc.com>

茨木オーケライオンズクラブ